



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 崎山 一弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部責任者 (氏名) 瀧 礼江 TEL 03-3404-7501
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,433	1.1	65	—	68	—	13	—
2023年3月期第3四半期	6,366	△9.5	△100	—	△85	—	△388	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △362百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 3.16	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	△90.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,206	5,693	61.8
2023年3月期	8,838	5,710	64.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,691百万円 2023年3月期 5,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
2024年3月期	—	5.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,902	4.4	200	—	202	—	74	—	17.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,281,200株	2023年3月期	4,281,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	689株	2023年3月期	639株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,280,511株	2023年3月期3Q	4,280,561株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(偶発債務)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化やインバウンド需要の回復により、緩やかな回復基調で推移いたしました。ウクライナや中国経済等の国際的な情勢不安、世界的な金融引き締めや原材料及びエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇等、消費行動の持ち直しには不安材料があり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社グループは、2024年3月期から新中期経営計画（2024年3月期から2026年3月期）をスタートいたしました。「製品価値向上」「サロン価値向上」「新しい価値の創造」という3つの重点課題を掲げ、再成長を目指してまいります。

また、新中期経営計画の策定と合わせ、激変する社会環境と価値観の変化にシなやかに対応し、未来に向けた新しい「美」を追求、提案し、必要とされる企業であり続けるために、ブランディングプロジェクト「60th Anniversary プロジェクト」を始動いたしました。2024年の新社屋竣工、2026年の創業60周年に向けて、サステイナブルな社会に貢献する企業を目指してまいります。

直営店舗に関しては、引き続き、新規顧客の獲得を重要な経営課題と位置付け、イベントプロモーション[※]をはじめとする新規集客活動を活発化させております。加えて、検診センターで健康診断の待ち時間での肌チェックやハンドマッサージのご提供や、ヨガ講師とコラボした美肌セミナーの実施等、異業種とのコラボレーションによる施策を新たに推進した結果、新規顧客の来店数は前年同期比105.2%と上昇傾向が続いております。新規顧客の購入単価も増加傾向にあることから、新規顧客に対する売上高は前年同期比111.1%と大きく増加いたしました。

既存顧客に関しては、継続数は未だ微減傾向にあるものの、既存顧客の購入単価は前年同期を上回っております。通常のカラケアにプラスしたオプションケアの利用を促進するため、パック等のカラケア製品の当日購入に対する割引キャンペーンの実施や、新製品6品の発売及びリニューアル製品と好評製品の再販売等が功を奏し、既存顧客に対する売上高は前年同期比100.3%と増加いたしました。

また、10月に行いました会員規約の一部改定に伴い、当社のビューティーアップ・ポイント（以下、BP）の利便性向上のため、BP交換品の充実やBPを使用した施術メニューを増やすなど、サービスの拡充を図ってまいりました。今後も、ポイントの利用方法の拡充を進め、より顧客にご満足いただけるサービスを目指してまいります。

首都圏にて展開しているヘアサロンに関しては、10月20日に六本木店、恵比寿店に続き3店舗目となる蒲田店をシーボン フェイシャリストサロン蒲田店に併設する形でオープンいたしました。既存のフェイシャリストサロンとの併設により、既存顧客の相互送客を促すとともに、新規顧客との接点拡大を図ってまいります。

12月にバレーボールV.LEAGUE DIVISION 1 WOMEN(V1女子)に所属する「NECレッドロケッツ」とオフィシャルパートナー契約を締結いたしました。選手へのビューティーサポート（化粧品提供、サロン体験によるフェイシャルケア等）や、ブース出展し、ファンの皆様（来場者）への肌チェックやサンプリングを実施する予定です。

当第3四半期の製品におきましては、新たに以下の製品を発売いたしました。

■10月

「シーボンアクアリフレッシュマセ」数量限定発売

瞬間ですっきりとした素肌へ 洗い流しタイプのクレンジングクリーム

「シーボン マスカレードエフェクター」新発売

ふっくらとしたハリを与え、なめらかで若々しい印象の肌へ導く、目元・額用クリーム

「シーボン オールデイパーフェクトベール」新発売

肌に与えた水分をうるおいで包み込む洗い流さないパック

■11月

「C'ores EMPOWER」新発売

集中ケアにも、毎日でも使える 2WAYスキンケア “パワフルな美しさを湛えたタイトなハリ肌”へ

「C' BON 3D Luxe」季節・数量限定

C'oresをグレードアップする冬季限定オプションパック

「シーボン AC Vリフトセラム」数量限定発売

紫外線研究から生まれた深層エイジングケア「シーボン AC」シリーズの進化系ハリ美容液

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は6,433,632千円(前年同期比1.1%増)となりました。

た。利益面におきましては、営業利益は65,604千円（前年同期は営業損失100,809千円）となり、経常利益は68,576千円（前年同期は経常損失85,813千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,508千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失388,855千円）となりました。

※イベントプロモーション

：新規顧客獲得のために、サロンにおけるトライアルプランにご予約いただけるように、イベントブース等で簡易の肌チェックを通じてシーボンをご紹介するプロモーション活動

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は5,920,010千円となり、前連結会計年度末に比べ47,974千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比63,097千円減）、原材料及び貯蔵品の減少（前連結会計年度末比41,210千円減）、その他流動資産の減少（前連結会計年度末比46,421千円減）があった一方で、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比108,746千円増）によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は3,286,327千円となり、前連結会計年度末に比べ415,583千円増加いたしました。その主な要因は、その他有形固定資産の増加（前連結会計年度末比418,648千円増）によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は3,061,410千円となり、前連結会計年度末に比べ401,436千円増加いたしました。その主な要因は、未払金の増加（前連結会計年度末比312,384千円増）、契約負債の増加（前連結会計年度末比196,866千円増）があった一方で、その他流動負債の減少（前連結会計年度末比59,311千円減）、買掛金の減少（前連結会計年度末比16,736千円減）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比28,859千円減）によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は451,072千円となり、前連結会計年度末に比べ17,493千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金の減少（前連結会計年度末比2,900千円減）、その他固定負債の減少（前連結会計年度末比14,804千円減）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は5,693,855千円となり、前連結会計年度末に比べ16,334千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比7,894千円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前連結会計年度末比13,004千円減）によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.8%（前連結会計年度末は64.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,034	3,918,936
受取手形及び売掛金	836,856	945,602
商品及び製品	433,278	441,982
仕掛品	52,904	38,139
原材料及び貯蔵品	478,094	436,884
その他	185,085	138,664
貸倒引当金	△269	△199
流動資産合計	5,967,985	5,920,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	693,196	722,582
土地	244,827	244,827
その他(純額)	564,544	983,193
有形固定資産合計	1,502,568	1,950,603
無形固定資産		
投資その他の資産	54,808	47,951
その他	1,336,367	1,310,772
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,313,367	1,287,772
固定資産合計	2,870,744	3,286,327
資産合計	8,838,730	9,206,338
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,130	96,393
1年内返済予定の長期借入金	5,800	4,350
未払法人税等	84,965	56,105
未払金	673,563	985,947
契約負債	1,512,756	1,709,622
資産除去債務	3,258	1,802
その他	266,500	207,188
流動負債合計	2,659,974	3,061,410
固定負債		
長期借入金	2,900	—
資産除去債務	315,341	315,553
その他	150,323	135,518
固定負債合計	468,565	451,072
負債合計	3,128,539	3,512,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	4,683,799	4,675,905
自己株式	△1,426	△1,501
株主資本合計	5,534,134	5,526,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,880	156,875
為替換算調整勘定	5,027	8,374
その他の包括利益累計額合計	174,907	165,250
新株予約権	1,148	2,440
純資産合計	5,710,190	5,693,855
負債純資産合計	8,838,730	9,206,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,366,261	6,433,632
売上原価	1,533,043	1,622,476
売上総利益	4,833,217	4,811,155
販売費及び一般管理費	4,934,026	4,745,551
営業利益又は営業損失(△)	△100,809	65,604
営業外収益		
受取利息	81	60
受取配当金	4,599	5,457
受取家賃	4,736	—
雇用調整助成金	3,711	1,268
その他	7,460	3,171
営業外収益合計	20,588	9,958
営業外費用		
支払利息	292	153
社宅等解約損	510	143
為替差損	998	582
支払手数料	3,780	3,780
その他	11	2,326
営業外費用合計	5,593	6,986
経常利益又は経常損失(△)	△85,813	68,576
特別利益		
固定資産売却益	3,139	—
新株予約権戻入益	4,660	—
特別利益合計	7,799	—
特別損失		
固定資産売却損	28,411	—
固定資産除却損	7,886	9,677
減損損失	50,275	—
解体撤去費用	101,994	8,298
支払補償費	80,000	—
特別損失合計	268,568	17,975
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△346,581	50,600
法人税、住民税及び事業税	44,345	37,504
法人税等調整額	△2,072	△412
法人税等合計	42,273	37,092
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△388,855	13,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△388,855	13,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△388,855	13,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,030	△13,004
為替換算調整勘定	6,194	3,346
その他の包括利益合計	26,225	△9,657
四半期包括利益	△362,630	3,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362,630	3,850
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(偶発債務)

当社の連結子会社である(株)ジャフマックが販売する飲料16品目におきまして、2023年12月下旬に規定を超えるアルコールが残存している可能性があるとして判明したため、当該製品の自主回収をさせていただくことになりました。今後、損害賠償等の発生が見込まれますが、その影響を合理的に算定することが困難であり、現時点では、財政状態及び経営成績に及ぼす影響は不明です。